



長沼町長 戸川 雅光

明治20年、未開の大地に、先人たちが開拓の鋤を入れ、幾度の水害や冷害と闘いながらも、着実に発展を続け、今日の長沼町を築きあげてきました。

そして今、道内の農産物の主要供給基地としてはもちろんのこと、グリーン・ツーリズムの受け入れや直売所も好評で都市との交流が盛んに行われています。

今後も豊かな自然や文化を活かし、「安全・安心」「町民主役のまちづくり」の実現に向け、住民のみなさんとともに、個性豊かな魅力あるまちづくりに全力を傾注していく所存でございます。

このホームページは、長沼町の歴史、文化や地域の取り組みなどの情報を掲載しています。ぜひご覧いただき、本町の「まちづくり」にご理解と関心を持っていただければ幸いです。



町章

町名・長沼の「ナガ」を図案化し、両翼は飛鳥の如き発展を意味し、中央はローマ字の「N」を形取ると共に、特産の籾(2個)を象徴しています。また、全体の円形は町の団結・平和・円満を表しています。(昭和42年9月制定)



町の花

ライラック



町の木

エゾヤマザクラ



町の鳥

カッコウ